

## 信用金庫・信用組合との合同勉強会の開催

信用金庫・信用組合職員と中国財務局職員とのコミュニケーションの充実を図り、立場を超えた率直な意見交換を通じて得た情報を活用して、それぞれの立場から、共通の目標である地域の活性化に貢献していくことを目指した、合同での勉強会を初めて開催した。

### 概要

中国財務局では、金融監督・検査業務を通じて、管内の金融機関と業務上の関係を持っているが、これまでは、当局と金融機関の共通の目標である地域の活性化について、互いの職員が、率直な意見交換を行う場を十分には設けていなかった。

こうしたことから、当局と信用金庫・信用組合双方の職員が、コミュニケーションの充実を図り、互いの立場を超えた率直な意見交換を行い、それぞれの立場から、地域の活性化に貢献していくことを目指し、管内の信用金庫・信用組合の協力のもと、合同勉強会を開催。

#### 【開催実績】

- ①平成29年12月13日(広島県)金融機関36名、当局25名  
テーマ「信用金庫における独自性の発揮について」
- ②平成30年2月26日(広島県)金融機関23名、当局9名  
テーマ「信用組合の強みや良さとは何か」
- ③平成30年3月6日(岡山県)金融機関22名、当局8名  
テーマ「地域や顧客との関係性・密着性について」ほか
- ④平成30年3月20日(山口県)金融機関9名、当局7名  
テーマ「事業性評価に基づく融資と地域貢献」

### 取組の成果と今後の展開

#### 【取組の成果】

合同勉強会では、グループワークを実施し、管内信用金庫・信用組合が、地域の活性化に貢献していくうえで参考となるテーマについて討議。グループワークでの立場を超えた率直な意見交換は、共通の目標である地域の活性化に向けて、それぞれの立場から尽力して行くという認識・気づきを得るきっかけとなった。

なお、勉強会後は、懇親会を開催し、率直な意見交換と互いのコミュニケーションの更なる充実を図った。

参加者アンケートでは、「各金融機関の現状・課題を確認し、共に解決策を議論できた」、「金融機関側だけでなく財務局職員と意見交換できたことは斬新」といった声などが寄せられ、当勉強会を有意義とする回答は9割以上であった。

#### 【今後の展開】

今後も、信用金庫・信用組合と連携して当勉強会を開催し、当勉強会を通じて得られた気づきや連携が、地域活性化の取組に活かされるよう取り組む。

